



地元産物を使用し、惣菜や弁当を作っている「ひめ工房」



町内で栽培された新鮮な野菜や果物を直売する「ひとまるの里」。朝から多くの客が訪れる

平成14年10月に開設した、常設の農産物直売所。旬の野菜や果物、草花、パンや豆腐、調味料などの加工品のほか、相島で水揚げされた魚介類も定期的に販売しています。年末には店先で餅つきを行うなど、折にふれてイベントも開催。店の知名度向上や集客にも力を入れています。

産品は、近隣の農家約70軒と町内外の食品加工業者が出荷。少量出荷が可能で自ら価格決定できることが生産意欲の向上にもつながっています。

生産者の平均年齢は60代半ば。町の第1次産業の育成、また高齢者生きがい対策の面でも期待されています。

平成22年に開設された「ひめ工房」では、お弁当やお惣菜を作つており、地域でとれた新鮮な野菜や果物が使われています。作られたお弁当やお惣菜は隣のひとまるの里直売所で販売されており、お弁当は配達も行っています。行事やイベント時には多くの注文が寄せられていて、栄養満点の健康的なお弁当として地元の人々に愛されています。

Special product

東部地区観光交流拠点施設「こみんかみかん」



相島観光交流拠点施設「島の駅あいのしま」



相島観光交流拠点施設として「島の駅あいのしま」があります。相島の魅力を発信する観光案内施設で、ひじき、ロツケやお土産などの販売、相島の観光スポットの案内などを行っています。相島の新鮮な海の幸を使った料理を楽しむことができる食堂も入っています。

東部地区観光交流拠点施設としては、令和3年10月に「こみんかみかん」を開設しました。明治33年に建築された個人の住宅を改修し、立花口区を訪れる人たちの交流や情報発信の場として活用しています。太い梁や美しい欄間など、かつての職人たちの技術や日本独自の芸術的なデザインを随所に感じることができます。古き良き日本の暮らしに思いを馳せることができます。どこか懐かしいこの建物は、観光拠点としての一面だけでなく、地元の人々にとっても憩いの場としての役割を担っています。

新宮町農産物直売所 「ひとまるの里」

観光交流拠点施設



第2・4土曜日にはしんぐうマルシェを開催。町の特産品を求め、多くの人が訪れる

Uniqueness

いま、地方分権の推進、少子高齢化社会の到来など、私たちの町を取り巻く社会状況は大きく変化しています。そんな時流に対応するには、時には自由でユニークな、柔軟な発想も必要です。町内では、地理的条件を生かし、地域でとれた新鮮な産物を販売しています。また、観光の振興や情報インフラの整備など特色ある取り組みも行っています。

特産品も豊富に。地産地消の取り組み



地理的条件を生かし地産地消

大都市近郊という好条件を活かし、農業や漁業において消費者ニーズを見据えた新たな展開を図っています。

近年、食生活への意識の高まりから地域で獲れた産物を地域で消費する「地産地消」が見直されています。町でも、下府地区に直売所「ひとまるの里」を開設。町内の農家から毎日新鮮な野菜や果物、草花などが出荷されるほか、定期的に相島の海産物も販売され、店頭をにぎわせています。

今では近隣の客だけでなく、隣接する福岡市内や遠方から車で訪れる固定客も増えています。



相島のかまぼこ工場

Software business

小学4年生～6年生を対象とした「サマーキャンプ」の様子。自然体験や集団生活を通して、協調性を学び、生きる力を育むことを目的としている。スタッフとしてジュニア・シニアリーダーも参加している。



平成15年から試験的に始まった小学生の「通学合宿」。「自分のことは自分でする」という約束のもと、料理や洗濯、掃除、布団の片付けなど、基本的な家事はすべて子どもたちが担当。合宿所では班ごとに分かれて行動し、就寝前には班会議を開き一日を反省。子ども自身の自覚を促すよい機会となっている。



町の子ども会育成連合会が主催として年間12回行われる「子どもリーダー研修会」では、リーダーを志す小学生高学年約50人が参加している。「リーダーズキャンプ」やスポーツ交流会の運営など、さまざまな活動を通じ、子どもたちはリーダーとしての役割を学んでいく



「こども体験クラブ」の活動の一つで、相島積石塚群を見学している様子

他にも小学生高学年を対象とした「子どもリーダー研修会」を始めとして、次世代の地域のリーダーとなる子ども・ジュニア・シニアリーダーの育成に取り組んでいます。「こども体験クラブ」や「サマーキャンプ」での自然体験や集団生活体験、夏休みに地域で行われる「地域寺子屋」などを通して、町の将来を担う子どもたちの健全育成を行っています。



「新宮劇場」は立花山、相島、松林、店舗など、町内各地で開催されている。年齢や男女問わず、さまざまなイベントが開催されている。



各種イベントの実施には、地域住民の協力が欠かせない（ヘルシーウォーク）

平成15年度から地域ぐるみで子どもの健全な育成を支援する「通学合宿」をスタート。初年度は23人の児童が参加、福祉センターで1週間共同生活しながら小学校に通学しました。合宿は、大学生ボランティアの協力を得て、町通学合宿運営委員会が主体となって実施。現在は地域やPTAが主体となって実施しています。

地域で育む 子どもたち

町では、未来を担う人材育成や情報ネットワークの拡充、そして歴史や文化など地域の特性を活かした取り組みや観光に力を入れています。平成27年度には観光協会である一般社団法人「新宮町おもてなし協会」を設立しました。新宮町おもてなし協会では、「新宮町全体を劇場に見たて、町内の豊かな山・海・街を舞台にさまざまな体験ができる観光イベント」「新宮劇場」などを開催しており、どのイベントも町内外多くの人が参加しています。また、町内のまちづくり団体も地域の魅力を発信するため、「相島！春フェスタ」や「たちばな竹灯籠」などを開催しています。

